

府域一水道に向けた水道のあり方協議会 第9回総会 議事要旨

日 時:令和8年6月 18 日(木)15:00～16:45

場 所:国民會館 12 階 武藤記念ホール(中ホール)

議事内容

1. 水道行政の動向について(国土交通省)

国土交通省水管理・国土保全局上下水道審議官グループから、水道予算、水道の基盤強化、老朽化対策、耐震化対策、広域連携、災害時の応急対応等について説明があった。

近畿地方整備局からは、近年の老朽化による漏水事故の状況、管内で発生した事故事例から新技術を用いた調査について説明があり、有事の際の情報提供について事業体への協力が呼びかけられた。

2. 令和7年度の実施状況について

大阪府水道基盤強化計画の令和7年度の実施状況の概要を事務局から報告し、一部項目については各事業体等から説明が行われた。

<各事業体等からの主な説明内容>

- ・一部区域でスマートメーターを設置し、実証や検証を進めている。今後は範囲や対象を拡大する方針であり、全域展開に向け、類似事業体や、電力事業者、製造会社と連携し、普及や規格の検討・研究を進める予定である。(大阪市)
- ・若年層に水道事業への理解を深めてもらうため、大学と連携し、啓発事業や学生向けのゼミを実施している。浄水処理や漏水修繕、災害時給水、工事の見学などを体験してもらい、将来の担い手育成を図っている。(大阪市)
- ・令和7年度に5団体と統合し、給水人口は約 110 万人となった。現在、令和9年度の3団体の統合に向け、各団体と協議調整を進めている。(大阪広域水道企業団)
- ・営業業務の標準化や料金システムの移行を順次進め、12 水道センターで導入済みである。また、人材育成や技術継承、危機時の対応力を強化するため、隣接する水道センターの統合令和7年度、令和8年度にそれぞれ1か所ずつ行った。(大阪広域水道企業団)
- ・人材確保の取組として、就職セミナーへの参加、インターンシップの実施に加え、関西にとどまらず大学、高校等への個別訪問を強化するなど、公務、インフラに関心のある就活者に採用情報が届くよう、取組を進めている。(大阪広域水道企業団)
- ・水運用管理システム更新にあたり PFI を導入し、設備更新・運転管理・保守を包括化した。業務分担の解消や異常時対応力の向上を図っている。(堺市)
- ・老朽化が進んでいる浄水場の更新事業において、官民連携手法である DBO を採用することでライフサイクルコストの抑制と効率的な事業運営を目指している。(枚方市)

- ・水道施設台帳で取り扱うデータ統一化を WG にて検討した。整理した内容は今後、各事業体においてシステム更新等の機会を捉えて順次合わせる。(大阪府)
- ・令和7年度大阪府域水道災害対策合同訓練を 11 月5日、6日に実施した。(大阪府)
- ・事例説明会は令和8年度も開催予定。(大阪府)

3. 令和8年度の実施予定について

本協議会の令和8年度の実施予定(事務局案)を事務局から報告した。

4. その他

出席した事業体から、国の水道事業に係る予算拡充に向け、下記の提案があり、今後、その内容について調整を進めることとした。

- ・大阪府が要望書を取りまとめて国土交通省及び財務省へ直接要望を行うこと。
- ・要望にあたっては、各事業体の首長から各省政務三役へ手交していただくことが非常に重要であり、スケジュールの許す限り各事業体の首長に出席をお願いしたい。